

令和4年中のストーカー及び配偶者暴力事案の取扱状況について（暫定値）

令和5年2月9日
人身安全対策課

1 ストーカー事案

(1) 取扱状況

ストーカー事案の認知件数は96件で、前年より33件(25.6%)減少した。

ストーカー規制法の検挙は6件で、前年より5件(45.5%)減少した。他法令検挙は10件で、前年と同数である。

	認知	規制法検挙	他法令検挙	警告	禁止命令
令和3年	129	11	10	25	10
令和4年	96	6	10	7	12
増減	△33	△5	0	△18	2

(2) 行為態様

つきまとい行為の態様は、1号(つきまとい等)が60件(41.1%)と最多で、次いで3号(義務なき要求)が37件(25.3%)となっている。

総数	1号	2号	3号	4号	5号	6号	7号	8号
146	60	8	37	13	19	1	4	4

※ 複数計上のため認知件数より多い

1号 つきまとい、待ち伏せ、押しかけ、見張り、うろつき	5号 無言電話、拒否後の連続電話・メール等
2号 監視していることの告知	6号 汚物等の送付
3号 面会、交際等義務ないことの要求	7号 名誉を害する行為
4号 粗野又は乱暴な言動	8号 性的羞恥心を害する行為

この他、GPSの取り付け行為を2件認知している。

(3) 関係別

被害者と行為者の関係は、その他に分類されるSNSで知り合った関係や店員と客の関係などが31件で、全体の32.3%を占め、近年増加傾向にある。

総数	配偶者	元交際相手	友人知人	同僚	職場関係者	面識なし	その他	行為者不明
96	6	20	10	6	2	5	31	16

(4) 年代別

ア 被害者

被害者の年代別は、20代が39人(40.6%)、30代が18人(18.8%)となっている。

65歳以上の高齢被害者は2人(2.1%)となっている。

総数	10代	20代	30代	40代	50代	60~64歳	65歳以上
96	10	39	18	13	12	2	2

イ 行為者

行為者の年代別は、20代が18人(18.8%)、50代が15人(15.6%)となっている。

65歳以上の高齢行為者は12人(12.5%)となっている。

総数	10代	20代	30代	40代	50代	60~64歳	65歳以上	行為者不明
96	5	18	13	13	15	4	12	16

2 DV事案

(1) 取扱状況

配偶者暴力(DV)事案の認知件数は272件で、前年より43件(13.7%)減少した。

DV防止法の検挙はなく、前年より1件(100.0%)減少した。

他法令検挙は8件で、前年より4件(33.3%)減少した。

	認知件数	DV防止法検挙	他法令検挙	保護命令
令和3年	315	1	12	6 (0)
令和4年	272	0	8	5 (0)
増減	△43	△1	△4	△1 (0)

()は他機関取扱い

(2) 関係別

被害者と加害者の関係は、婚姻関係が212件(77.9%)、同居型交際が25件(9.2%)となっている。

総数	婚姻	内縁	同居型交際	元婚姻	元内縁	元同居型交際
272	212	13	25	16	0	6

(3) 年代別

ア 被害者

被害者の年代別は、30代が66人(24.3%)、40代が65人(23.9%)、20代が54人(19.9%)となっている。

65歳以上の高齢被害者は、51人(18.8%)となっている。

総数	10代	20代	30代	40代	50代	60~64歳	65歳以上
272	3	54	66	65	23	10	51

イ 加害者

加害者の年代別は、40代が72人(26.5%)、30代が61人(22.4%)、20代が49人(18.0%)となっている。

65歳以上の高齢加害者は、56人(20.6%)となっている。

総数	10代	20代	30代	40代	50代	60~64歳	65歳以上
272	2	49	61	72	26	6	56